

第 10 章 健康管理

1. 基本調査 Q&A

QA10-1 基本調査の目的は何ですか。 基本調査で何がわかるのですか。

A

- ① 東日本大震災に伴う、東京電力福島第一原子力発電所事故による放射線の影響を踏まえ、放射線による外部被ばく線量を行動記録から推計し、推計結果を各人にお知らせするとともに、将来にわたる県民の健康の維持、増進につなげていくことを目的に実施しています。
- ② 空間線量率が最も高かった時期の外部被ばく線量を把握する、唯一の方法です。
- ③ ご本人の健康管理の基礎資料となることはもちろん、健康の見守りに必要な施策の検討などを目的に、地域別など、個人が特定されない形で結果を解析します。

統一的な基礎資料の関連項目

下巻 第 10 章 114 ページ「基本調査 目的」

出典：福島県立医科大学 放射線医学県民健康管理センターウェブサイトより作成

出典の公開日：平成 27 年 3 月 31 日

本資料への収録日：平成 29 年 3 月 31 日

改訂日：平成 31 年 3 月 31 日

QA10-2 外部被ばく線量の推計は、どのようにして行っているのですか。

A

- ① 提出いただいた問診票の行動パターンの結果と線量率マップを組み合わせ、外部被ばく線量評価が行われています。
- ② 線量率マップは文部科学省のモニタリングデータが用いられています※。

統一的な基礎資料の関連項目

下巻 第10章 117 ページ「基本調査 解析方法 行動パターン調査と線量率マップ」

（参考情報）

※ 文部科学省が公表しているモニタリングデータが利用できない平成 23 年 3 月 12 日から 15 日のうち、3 月 12 日から 14 日までの 3 日間は、平成 23 年 6 月に原子力安全・保安院（当時）が公表した放射性物質の放出量データを用いて、緊急時迅速放射能影響予測ネットワークシステム（SPEEDI）により計算された結果を適用しました。3 月 15 日については、3 月 16 日のデータと同じとし、3 月 16 日以降については、文部科学省が公表しているモニタリングデータを利用しました。

出典：福島県立医科大学 放射線医学県民健康管理センターウェブサイトより作成

出典の公開日：平成 27 年 3 月 31 日

本資料への収録日：平成 29 年 3 月 31 日

QA10-3 内部被ばくについては推計しないのですか。

A

- ① 現在の内部被ばく線量については福島県がホールボディ・カウンタによる内部被ばく検査を行っています。
- ② 詳細は福島県のウェブサイトをご覧ください。
 - ・ ホールボディ・カウンタによる内部被ばく検査 検査の実施について
(県内・県外)
<http://www.pref.fukushima.lg.jp/site/portal/wbc-kensa.html>

統一的な基礎資料の関連項目

下巻 第10章 158 ページ「ホールボディ・カウンタによる内部被ばく検査の実施結果」

出典：福島県立医科大学 放射線医学県民健康管理センターウェブサイトより作成

出典の公開日：平成 27 年 3 月 31 日

本資料への収録日：平成 29 年 3 月 31 日

改訂日：平成 31 年 3 月 31 日

2. 甲状腺検査 Q&A

QA10-4 甲状腺検査の目的は何ですか。

A

甲状腺検査は、チェルノブイリ原発事故後に明らかになった放射線による健康被害として、放射性ヨウ素の内部被ばくによる小児の甲状腺がんが報告されたことから、福島県はチェルノブイリに比べて放射性ヨウ素の被ばく線量が低いとされていますが、子どもたちの甲状腺の状態を把握し、健康を長期に見守ることを目的に実施しています。

統一的な基礎資料の関連項目

下巻 第10章 122 ページ「甲状腺検査 目的と対象」

出典：福島県立医科大学 放射線医学県民健康管理センターウェブサイトより作成

出典の公開日：平成 27 年 3 月 31 日

本資料への収録日：平成 29 年 3 月 31 日

改訂日：平成 31 年 3 月 31 日

QA10-5 「のう胞」、「結節」とは何ですか。

A

- ① 「のう胞」とは体液の溜まった袋状のものです。のう胞の中身は液体のみで、細胞がないためがんになることはありません。
- ② 「結節」は「しこり」とも呼ばれ、甲状腺の細胞が変化したものです。結節には良性と悪性（がん）があり、多くは良性です。
- ③ なお、のう胞の中にはのう胞の中に結節を伴うものがあります。県民健康調査では、これをのう胞とせず、結節と判定しています。

統一的な基礎資料の関連項目

下巻 第10章 126 ページ「甲状腺検査 結節とは」

下巻 第10章 127 ページ「甲状腺検査 のう胞とは」

下巻 第10章 128 ページ「甲状腺検査 充実部分を伴うのう胞の扱い」

出典：福島県立医科大学 放射線医学県民健康管理センターウェブサイトより作成

出典の公開日：平成 27 年 3 月 31 日

本資料への収録日：平成 29 年 3 月 31 日

QA10-6 「チェルノブイリでは、子どもの甲状腺がんが多く発症した」と聞きますが、福島県は本当に大丈夫なのでしょうか。

A

- ① 福島県で行われている甲状腺検査の先行検査で見つかった甲状腺がんは、東京電力福島第一原子力発電所事故による放射線の影響とは考えにくいとされています。
- (ア)被ばく線量がチェルノブイリ事故と比べて総じて小さいこと、
(イ)被ばくからがん発見までの期間が概ね 1 年から 4 年と短いこと、
(ウ)事故当時 5 歳以下からの発見はないこと、
(エ)年齢分布が福島県とチェルノブイリでは大きく違うこと、
(オ)地域別の発見率に大きな差がないこと
- から、総合的に判断して、放射線の影響とは考えにくいと評価したものです。
- ② しかし、放射線影響をみるためには、今後も長期にわたり経過をみる必要があります。

統一的な基礎資料の関連項目

下巻 第 10 章 136 ページ「甲状腺検査 先行検査結果に対する見解」

出典：放射線による健康影響等に関する統一的な基礎資料 下巻第 10 章 136 ページ「甲状腺検査 先行検査結果に対する見解」より作成

出典の公開日：平成 27 年 3 月 31 日

本資料への収録日：平成 29 年 3 月 31 日

改訂日：平成 31 年 3 月 31 日

3. 健康診査 Q&A

QA10-7 「健康診査」の目的は何ですか。

A

東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所事故により、多くの方が避難生活を余儀なくされ、食生活、運動習慣など生活習慣が大きく変化し、また、受診すべき健康診査も受けることができなくなるなど、健康に不安を抱えている住民もいることから、県民の健康状態を把握し、生活習慣病の予防や疾病の早期発見、早期治療につなげることを目的に実施しています。

統一的な基礎資料の関連項目

下巻 第10章 137 ページ「健康診査 目的」

出典：福島県立医科大学 放射線医学県民健康管理センターウェブサイトより作成

出典の公開日：平成 27 年 3 月 31 日

本資料への収録日：平成 29 年 3 月 31 日

改訂日：平成 31 年 3 月 31 日

4. こころの健康度・生活習慣に関する調査 Q&A

QA10-8 こころの健康度・生活習慣に関する調査の目的は何ですか。

A

東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所事故の体験やこれらの災害による避難生活により、多くの方が不安やストレスを抱えていることから、県民のこころやからだの健康状態と生活習慣などを正しく把握し、一人一人に寄り添った保健・医療・福祉に係る適切なケアを提供することを目的に実施しています。

統一的な基礎資料の関連項目

下巻 第10章 143 ページ「こころの健康度・生活習慣に関する調査 概要（1/2）」

出典：福島県立医科大学 放射線医学県民健康管理センターウェブサイトより作成

出典の公開日：平成 27 年 3 月 31 日

本資料への収録日：平成 29 年 3 月 31 日

改訂日：平成 31 年 3 月 31 日

QA10-9 「支援」とはどのようなもので、どのように行われるのですか。

A

ご回答いただいた内容から、「こころ」や「からだ」に関する相談や支援の必要があると思われる方に、電話による支援と文書による支援を行っています。

- ① 電話による支援では、臨床心理士、保健師、看護師等からなる「こころの健康支援チーム」が電話をかけ、お話をお伺いしています。
- ② 文書による支援では、「現在の状況」や「電話支援の希望」を確認する文書をお送りしています。また、情報提供のために、パンフレット等をお送りすることもあります。

出典：福島県立医科大学 放射線医学県民健康管理センターウェブサイトより作成

出典の公開日：平成 27 年 3 月 31 日

本資料への収録日：平成 29 年 3 月 31 日

改訂日：平成 30 年 1 月 31 日

5. 妊産婦に関する調査 Q&A

QA10-10 妊産婦に関する調査の目的は何ですか。

A

東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所事故以降の福島県の妊産婦の皆さまのこころやからだの健康状態を把握し、不安の軽減や必要なケアを提供することを目的に実施しています。

統一的な基礎資料の関連項目

下巻 第10章 150 ページ「妊産婦に関する調査 目的」

出典：放射線による健康影響等に関する統一的な基礎資料 下巻第10章 150 ページ「妊産婦に関する調査 目的」より作成

出典の公開日：平成 24 年 11 月 20 日

本資料への収録日：平成 29 年 3 月 31 日

改訂日：平成 31 年 3 月 31 日